

涸沼自然公園付近の外来植物

H27.7.19 茨城県生物多様性センター

外来生物とは

外…もともとなくて
来…人に連れてこられたり、物にまじって連れてこられた
生物…生き物のこと

特に、自然の中で増えている生物で、もともといた生き物たちに、問題をひきおこすおそれのある生き物について心配しています。

特定外来生物とは

他の地域から持ち込まれた生物(外来生物)の中で、生態系などに被害をおよぼすおそれのある生物のうち環境省がさだめたものをいいます。

原則禁止 栽培 保管 輸入 運搬 飼育

外来生物被害予防三原則

入れない

悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない

捨てない

飼っている外来生物を野外に捨てない

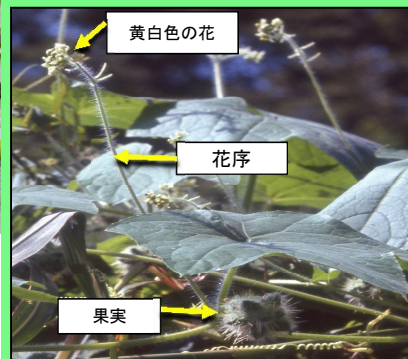
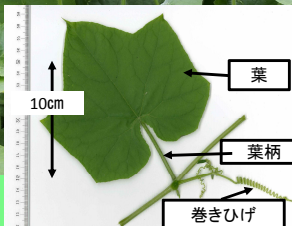
拡げない

野外にすでにいる外来生物は他の地域に拡げない

緊急対策外来種

アレチウリ (ウリ科)

特定外来生物



原産地 北アメリカ

花の時期 夏～秋

その他の特徴

- つるは数mになるものもあり、あらい毛があり、他の植物に巻きひげで巻きつく。
- 葉は大きな心臓形、両面さらつき、葉が茎に対してたがいちがいに出ている。
- 花は葉のわきから花序をつけ、直径1cmほどの黄白色の花をつける。
- 果実は1cmほどの楕円形で長いとげがはえる。1本で2万以上の種子をつくる。
- 種子は種皮の吸水阻害による休眠性があるといわれる。

影響

・長いつるで、樹木や農作物などに直接からみつき、枯らすことがある。

緊急対策外来種

オオキンケイギク (キク科)

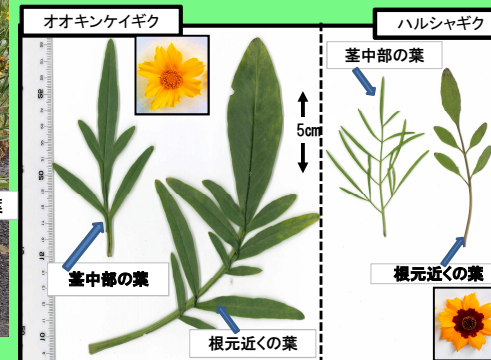
特定外来生物



原産地 北アメリカ

花の時期 5月中旬～6月中旬

茎の高さ 30～70cm



その他の特徴

- ・根が枯れずに残るため、毎年茎や葉を伸ばす。
- ・根元近くから出る葉に長い柄があり小さい葉にわかる。
- ・似た種類にハルシャギク(その他の総合対策外来種)がある。

影響

・繁殖力が強く、在来の植物の生育場所を奪うことがある。

※オオキンケイギクの葉には毛があるが、ハルシャギクにはない。

重点対策外来種

セイタカアワダチソウ (キク科)



原産地 北アメリカ

花の時期 秋

茎の高さ 100～250cm

その他の特徴

- ・根が枯れずに残るため、毎年茎や葉を伸ばす。
- ・地中には横に伸びる茎があり、そこからまっすぐ上に伸びる茎をだす。
- ・茎の上の方に多数の枝をだし、その先にたくさんの花をつける。

影響

・繁殖力が強く、在来の植物の生育場所を奪うことがある。